


赠送MP3光盘

看视频

**记日语单词
过目不忘**

平山崇 主编

这是一本不用死记硬背的日语单词书！
四大科学的速记方法 ⊕ 一套辅助记忆的视频软件


突破日语能力考试词汇大关！



大连理工大学出版社



平山崇 主编

 大连理工大学出版社

图书在版编目(CIP)数据

看视频记日语单词过目不忘/平山崇主编. —大连:
大连理工大学出版社, 2011.5
ISBN 978-7-5611-6200-2

I. ①看… II. ①平… III. ①日语—词汇—自学参考
资料 IV. ①H363

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2011)第079049号

大连理工大学出版社出版

地址:大连市软件园路 80 号 邮政编码:116023

发行:0411-84708842 邮购:0411-84708943 传真:0411-84701466

E-mail:dutp@dutp.cn URL:<http://www.dutp.cn>

大连美跃彩色印刷有限公司印刷 大连理工大学出版社发行

幅面尺寸:145mm×210mm 印张:7 字数:144千字
附件:光盘一张 印数:1~5000
2011年5月第1版 2011年5月第1次印刷

责任编辑:遼东敏

责任校对:张海宁

封面设计:董振巍

ISBN 978-7-5611-6200-2

定价:19.80元



はじめに

■ 語彙學習の重要性 ■

これまでの日本語教育は文法至上主義であった。確かに文法は日本語の基幹を成す重要なファクターである。しかしそれを重視するあまり語彙教育が軽視されたのは文法至上主義の弊害にほかならない。

認知言語学は、人間の言語習得は文法ではなく語彙から開始されることを明らかにしている。語彙の中心的な意味を学び、そこを起点として派生的な意味を学習し、さらにすべての意味に通ずるスキーマを習得する。文法を最初に学ぶというトップダウンではなく、語彙から始めて順に文法を学んでいくというボトムアップのプロセスがある。

本書は上記の理論に語彙論や認知心理学の知見を加えて、より合理的・効率的な語彙と文法の習得が実現できるように設計され、製作された。





■ 本書の内容解説 ■

1. 語彙体系の提示

現在の語彙の日本語書は、ア行からワ行にかけて機械的に単語を配列するか、「スポーツ」「生活」「趣味」などの項目を設定しそれに関連する単語を集めた形式が大部分を占める。しかしこれでは学習者の認知的負担が大きく、単語の暗記も非効率的である。本書では4つの単語の分類法を通して、日常生活でよく使う単語を提示しました。これで単語を早く効率的に覚えることが可能となります。

(1) 階層的関係

生物>動物>鳥>雀、というように、語彙を階層関係に基づいて整理するものである。

(2) 類縁的關係

ある語を中心として、それに関連する語を集めたものである。「考える」を中心語とするなら、「思案する」「考慮する」「悩む」などが類縁的關係を持つ。本書では語彙だけではなく、挨拶、推測や断定を表す文末表現、複合動詞なども含めて、より広範な類縁的關係を提示した。

(3) 継起的關係

人間のあらゆる行動はすべて時間軸に沿っている。レストランでの食事、バスの利用などは、社会生活の中で繰り返し経験する出来事である。「バスの利用」なら、<停留所でバスを待つ→バスに乗る→お金を払う→目的の駅で降りる>となる。これらの行



どう けいき ぶん か さ う ほんしょ にほん ちゅうごく
 動の継起は文化差を受けることもあるが、本書では日本と中国で
 きょうつう せら
 共通するものを選んだ。

(4) 連想的関係

ご ご れんそう そしき か しろ ぎゅうにゅう
 語と語を連想によって組織化したものである。〈白い→牛乳→
 うし や にく つな せんこうけんきゅう にほんじん おんいんてき
 牛→焼き肉〉などの繋がりである。先行研究では日本人は音韻的
 つな よわ い みできつな つよ ほんしょ い み れんそう
 繋がり弱く、意味的繋がり強いので、本書では意味の連想の
 あつか
 みを扱った。

ほんしょ あつか しようひん ど たか ひょうげん い
 本書で扱っているのはいずれも使用頻度の高い表現で、それ以外
 がい じよがい たと わね かんようく わね ひし
 外は除外してある。例えば、「胸」の慣用句に「胸を拉ぐ」がある
 き よ ひじょう すく お
 が、これは聞くことも読むことも非常に少ない。「～終わる」
 ふくごうどうし た お み お
 の複合動詞では、「食べ終わる」「見終わる」はよく言うが、
 しごと お ふつうい ことば ご いひょう
 「仕事し終わる」とは普通言わない。これらの言葉を語彙表から
 はず がくしゅう じつようせい たか
 外すことにより学習の実用性を高めた。

2. 対訳

にほんご ごい ひと ひと たいおう かたち ちゅうごくご やく お
 日本語の語彙に一つ一つ対応させる形で中国語の訳を置いた。
 にほんご み ちゅうごくご い ちゅうごくご み にほんご か だ
 日本語を見て中国語を言ったり、中国語を見て日本語を書き出す
 どくしゅう か のう
 といった独習も可能である。

つぎ ほんしょ たぎ ご あつか せつめい ちゅうしん ご きら
 次に本書の多義語の扱いについて説明する。中心語「嫌い」に
 かんれん ご いみ
 関連する語に「むかつく」がある。「むかつく」の意味は、「1.
 は け もよお はら た きら
 吐き気を催す(悪心)」「2. 腹が立つ(生气)」があるが、「嫌い」
 かん たいやく する ぶんれい
 に関するのは2のほうなので、対訳も「生气」と記し、文例もそ
 そく ほか たぎ ご どうよう ほうしん へんしゅう
 れに即した。他の多義語も同様の方針で編集してある。



ともあれ、^{がくしゅうしゃ} 学習者の^{みな} 皆さんの^{ほん} 本の中の^{なか} 対訳が^{たいやく} 一つでも「^ご 語義^ご は一つしかない」と^{はんだん} 判断しないように^{ちゅうい} 注意されたい。

3. 文法

^ご 語の^{ほうふ} 豊富な^{ようれい} 用例に触れることが^{けっか} 結果として^{ぶんぽう} 文法の^{りかい} 理解に^{つな} 繋がって^い いく。そのため^{ほんしょ} 本^ご 書では^{ごい} 語彙の^{ぶんれい} 下に^{せつち} 文例を^{ぶんれい} 設置した。文例は^い いずれも^{みじか} 短く^{りかい} 理解が^{ようい} 容易なため、^{たいやく} 対訳はない。日本語の^{にほんご} 文だけを^{ぶん} 見て^み その^い 意味を^{つか} 掴む^{れんしゅう} 練習をした^{がくしゅうじょうゆうえき} ほうが^{ぶんれい} 学習^よ 上^よ 有益である。文例を^よ 読む^よ ときには、^{まな} 学ぼうとする^ご 語が^ご どんな^{いっしょ} 語と^{つか} 一緒に^{ちゅう} 使われているのか^{ちゅう} 注意^い することである。また「は、が、で、に」などの^{かくしゅじょし} 各種^{はたら} 助詞の^{はたら} 働きにも^き 気を^{つか} 付けて^ほ 欲しい。例えば「^き 聞く」に関する^{かん} 慣用句^{かんようく} には、「^{かれ} 彼の^{うわさ} 噂^{みみ} を^{めいし} 耳にする」は「^{めいし} 名詞+の+^{みみ} 名詞+を+^こ 耳にする」という^{こうぞう} 構造^{こうぞう} を^と 取る。<耳にする>の前は「を」ということが^{いっぽう} わかる。一方、「^{こうえん} 講演^{こうえん} に^{みみ} 耳を^{かたむ} 傾ける」は^き 聞く^{たいしゅう} 対象を「に」で^{あらわ} 表している。

4. 慣用句・普通体・丁寧体

^{かんようく} 慣用句とは「^{かお} 顔が^{ひろ} 広い」や「^{むね} 胸を^か 貸す」など^{ひと} 一つの^{まと} 纏まった^い 言い方^{かた} であり、^{じぎどお} 字義^{かいしゃく} 通りに^{ただ} 解釈しても^{いみ} 正しい^え 意味が^え 得られない^い の^い で、^{ぜんたい} 全体として^{おぼ} 覚える^い しかない。

^{めうえ} 目上^{ひと} の人^{はな} と^{はな} 話す^{さい} 際の^{ていねいたい} 丁寧体^{ともだち} と、^{はな} 友達^{さい} と^ふ 話す^ふ 際の^ふ 普通体^ふ があ^い っ^い て、^{てきせつ} 適切^{つか} に^わ 使い^い 分け^い なければ^い け^い ない。

^{はな} 話す^{ていねいたい} ときは、^ふ まず^ふ 丁寧体^{しょう} と^{しょう} 普通体^{けつてい} の^い どちら^い を^い 使用^い するか^い を^い 決定^い し、^{じせい} それから^{こうてい} 時制^{ひてい} と^{かつよう} 肯定・^{きそく} 否定^そ の^{たんご} 活用^ご 規則^ご に^い 沿^い っ^い て、^い 単語^い の^い 語尾^い または^{こうぞく} 後続^{へんか} 部分^{へんか} を^い 変化^い さ^い せる。この^{ふくざつ} 複雑^{げんご} な^い 言語^い システム^い は、^{ちしき} 知識^い 。



として理解できたとしても実際に運用するのは至難である。せいぜい読み書きができる程度だ。大量のインプットとアウトプットの繰り返しでしか口頭能力は身に付かない。

単語の基本形は現在肯定であり、これをもとにして他の活用形を作ることになる。そこで本書では現在肯定の文例を大量に用意した。さらに第2部「11. 対義語・反対語」の文例は丁寧体で表し、それ以外はすべて普通体で表した。本書全体の文例の丁寧体・普通体の比率は、3:4程度となっている。日本語力向上のため文例を全面的に学習して欲しい。

5. 本と映像の相乗効果

本で語彙、語句の学習と文例の暗誦を進めたら、次は映像による学習の開始である。

シャドウイングは一種の口頭能力の訓練方法で、外国語の音声を聞きながら、ほぼ同時に、できるだけ正確に繰り返して言うものである。通常は日本語の音声のみで訓練するが、本教材は音声に映像と音楽がある。

パソコンやMP4などで付属CDのファイルを再生すると、画面に一つの単語が動きながら出てくる。例えば、単語が右と左から出て中央で合体したり、下から上へ移動したりする。その後、文例を読みあげる音声があるので、学習者はそれを聞きながら自分でも声を出す。画面の背景は赤、青、紫などの色彩に特殊な加工がなされており、ダイナミックな動きを演出する。更にバックミュージックも流れている。この音楽はすべて私が作曲・編



きよく うご たん ご せんれい そのな
 曲したものである。動きのある単語、鮮麗さとダイナミックを備
 が めんはいけい み わくてき おんがく どうごう ほんきょうざい
 えた画面背景、魅惑的な音楽、この3つを統合した本教材は、
 たんちょう たいくつ かいしやう がくしゅうしゃ きやう み たか
 シャドウイングの単調さ・退屈さを解消し、学習者の興味を高
 さら がくしゅういよく ひ だ か のう
 め、更には学習意欲を引き出すことを可能とする。

しかしいくら映像が印象的でも一度見て声に出しただけでは
 き お憶 ていちゃく く かえ み はっせい れんしゅう ひつ
 記憶に定着しない。繰り返し見て、発声して、練習することた必
 よう
 要である。

たん ご よこ が しゅつげん おお たて が
 なお単語は横書きで出現するパターンが多いが、縦書きもあ
 にほんご よこが たてが か のう げんご
 る。日本語は横書きと縦書きが可能な言語であるから、どちらに
 はんのう くんれん
 もすぐ反応できるように訓練しよう。

6. 携帯性

えいぞう けいたいでんわ い
 映像は携帯電話やMP4、iPodなどに入れることができるため、
 きがる がくしゅう
 いつでも気軽に学習できる。

ほんきょうざい しゅうろく たん ご すうやく えいぞう おんがく
 本教材は、収録する単語数約2500、映像32ファイル、音楽37
 きよく たん ご なん い ど きほんてき にほんごのうりよく
 曲となっている。単語の難易度は基本的なものから日本語能力
 しけん きゅう しゅつだい なん ど たか はばひろ あつか
 試験1級にも出題されない難度の高いものまで幅広く扱っている
 にほんご がくしゅうしゃ たいおう ほんしよ
 ので、すべての日本語学習者のニーズに対応できる。本書がみ
 にほんご がくしゅう すこ こうげん ねが
 なさんの日本語学習に少しでも貢献できることを願っている。

さいご ほんしよ がくしゅうほうほう しゅえい
 最後に、本書の「はじめに」と「学習方法」は、朱頌さんに
 ちゅうごくご ほんやく いただ れいもう
 中国語に翻訳して頂きました。お礼申しあげます。

ねん がつ
 2011年5月
 ひらやまたかし
 平山 崇



前言

■ 词汇学习的重要性 ■

迄今为止的日语教育都推崇语法至上主义。诚然，语法的确是构成日语基础的重要因素之一，但是过于偏重语法而轻视词汇的教学无疑是语法至上主义的一大弊病。

认知语言学清晰论证了人类的母语习得并非始于语法，而是源于词汇。掌握单词的中心意思，并以此为起点领悟其派生含义，进而掌握含有多种语义的概要词。在学习语法时应该采用自上而下的学习方法，所以应先学习词汇，再学习语法；而不是先学习语法再学习词汇的这种方式。

本书在上述理论上，加入了词汇论和认知心理学的相关知识，是为了能够帮助广大读者更合理、更有效地实现词汇和语法学习而设计编写的。

■ 本书的内容特点 ■

1. 词汇的分类编排标准

目前有关词汇的日语书，多为机械地罗列出从ア行到ワ行的单词；或是设定各种类别，诸如体育运动、生活、兴趣爱好等，再罗列出相关的单词。然而这种形式不仅使学习者的认知负担增大，单词的记忆也未必见成效。而本书通过四种科学系统的分类法将生活中的常用词汇列出，便于读者快速、准确地记忆单词。主要分类法包括：

(1) 单词速记之阶层分类法

这是将词汇按照阶层关系进行整理，比如，生物>动物>鸟>



麻雀。

(2) 单词速记之类似分类法

以某个单词为中心，搜集与其相关的词汇。例如将“思考”作为中心词语的话，那么思量、考虑、烦恼等都属于与其具有类似关系的词汇。在本书中，不仅对词汇，还包括表示推测、判断的句尾表达、复合动词等都进行了更为广泛的类似关系的讲解。

(3) 单词速记之继起分类法

人类所谓的行动，全都按照时间顺序进行。在餐厅用餐、乘坐公交车等，都是在日常生活中反复经历的事情。拿乘坐公交车来说，“在车站等公交车→上车→投币→到达目的地下车”。这类程式化动作虽然也受到文化差异的影响，但在本书中选用的均为中日通用的例子。

(4) 单词速记之联想分类法

通过联想这一方式，将单词与单词组织起来。例如，含有“白色→牛奶→牛→烤肉”这样的联想等。有研究表明，日本人拙于音韵之间的连接，而擅长于意思之间的连接，因此本书中仅采用意思联想。

本书选取的都是使用频率较高的词汇，不经常用的均没有收录。例如，有关“胸”的惯用语“胸を拉ぐ”就十分少见。在复合动词「～終わる」中，「食べ終わる」「見終わる」是常说的，但一般不说成「仕事し終わる」。没有收录的目的在于提高学习实用性。

2. 中文释义

每一个日语词汇都旁注有一一对应的中文翻译。可以看到日文，说出其中文意思；或者看到中文写出其日文翻译等，这些都是自学可能达到的。

对于多义词词义的选取，本书采用以下原则：与中心词“嫌い（讨厌）”相关联的单词有「むかつく」。「むかつく」的意思有两种，一是「吐き気を催す（恶心）」，二是「腹が立つ（生气）」。但是与「嫌い」相关联的则是第二种语义。因此在对译时要翻译成生气。例句也是如此。其他的多义词也采用同样的方法。

总之，读者需要注意，即使本书中的对译只有一个，也不可判



断其语义也只有一个。

3. 语法

通过接触大量的词汇，能够加深对语法的理解，因此本书将例句设置在词汇下方。由于例句偏短，便于理解，因此没有相应的中文翻译，期待读者通过阅读日文句子进行练习，理解掌握其含义，这样更加利于语言的学习。在读例句的时候，要留意词语之间的搭配用法。此外，还需注意「は、が、で、に」等各种助词的用法。比如，有关「聞く」的惯用语，「彼の噂を耳にする」采用了“名词句+を+<耳にする>”的结构。在<耳にする>的前面，使用了助词「を」。然而，在「講演に耳を傾ける」中，则用助词「に」来表示听的对象。

4. 惯用语·简体·敬体

所谓惯用语，指的是像「顔が広い」「胸を貸す」等的固定搭配。由于惯用语即使按照字面意思解释也无法得到正确的语义，因此只有固定搭配起来整体记忆。

日语中有敬体和简体之分。与上司、长辈谈话时使用敬体；与朋友、家人说话时则使用简体，这两种表达必须适当地加以区分。

在说日语时，先要决定使用敬体还是简体，然后根据时态、肯定否定的变化规则来变换单词的词尾或后续部分。这一复杂的语言系统，即使理解了其规则，实际运用起来也很困难。最多只能达到普通的读写水平。只有经过大量反复的听说练习，才能提高口语表达能力。

单词的原形为现在肯定时（一般现在时），应以此为基准进行其他的活用变形。为此，本书列举了大量一般现在（肯定）时的例句。第2章“11. 常用对义词·反义词”中的例句均用敬体表示，除此之外皆用简体表示。本书所有例句的敬体、简体比率为3:4左右。希望读者通过例句学习来提高日语能力。

5. 书和视频相得益彰

在学习完本书词汇、语句和背诵完例句后，接着便可以开始视



频学习。

跟读是一种提高口语表达能力的训练方法。听日文录音，同时尽可能反复模仿练习。一般的跟读只是练习日语发音，而本教材则涵盖有日语语音、画面及音乐。

在电脑或MP4中等播放附带光盘中的视频文件时，会在画面上出现一个移动着的单词。比如，一个单词中的两个要素分别从左右两边同时出现，在中间合为一体；或者某一单词整体由下方移至上方。之后就开始播放例句。学习者可以边听边跟读。画面背景色则在红色、蓝色、紫色等基础上进行了特殊加工，演绎出一副生动的画面。还配有背景音乐。所有的曲目均由本人作曲、编写而成。会动的单词、艳丽和生动的画面、引人入胜的音乐。本教材囊括以上三大特点，一改单调、枯燥的跟读学习方法，有助于提高学习者的学习兴趣，激发学习者学习积极性。

但是无论怎样引人入胜的图像资料，如果仅仅看一次、说一次，是无法记住的。学习者需要反复观看词汇的视频图像，练习发音。

另外，单词的书写方式通常多为横写，也有竖写的情况。由于日语是一种横竖都可书写的语言，因此两种写法都应练习并掌握，以适用于任何场合。

6. 便携性

本书配有CD-ROM格式的光盘，可以导入手机、MP4、ipod等，因此可以随时随地轻松学习。

本书收录了约2500个单词，32个视频，37首音乐。单词的难易程度覆盖很广，从最基本的词汇到超出日语能力一级的词汇，满足了不同层次日语学习者的需求。我衷心希望本书对大家的日语学习有所帮助。

最后感谢帮助我把“前言”及“学习方法”翻译为中文的朱颖。

2011年5月

平山崇



学习方法

基本态度

先看例句，不懂就类推想其意思。猜不到的话，就去查词典。

学习过程

本教材的学习过程如下：

1. 学习单词的词形、词义、发音。
2. 通过大部分例句来掌握语法。
3. 通过图式活用和联想来记忆单词和例句。
4. 通过观看光盘增强记忆，锻炼口语表达能力。

你也可以采用下面的学习方法：

- 将音量调至最低，只看视频画面。
- 先看视频，然后使自己的耳朵适应于日语听力。之后再通过阅读来掌握单词和例句。
- 同时进行书本和视频的学习。边看书边练习视听，学习单词的用法和例句的读法。
- 播放声音之前，试着说出相应的例句。
- 进行同声传译练习时，要边听日语边翻译成中文。

针对每一章单词的特点，其学习方法如下：

● 单词速记之阶层分类法

在学习时要有意识地关注语言的包含关系。位于阶层最上方的词语越抽象，反之阶层最下方的词语越具体。



● 单词速记之类似分类法

将与中心词有关的单词、词汇找出并归纳起来。在记忆时，不要单独分散记忆这些单词、词组，而应通过它们彼此之间的共通性来记忆则更为有效。

● 单词速记之继起分类法

在学习单词和例句的同时，要有意识地记忆事物或行为的顺序、过程。

● 单词速记之联想分类法

看例句，继而形象性地联想出一系列的关联词。

目 录

前言

学习方法

第1章 单词速记之阶层分类法	1
日常生活常用词汇	2
第2章 单词速记之类似分类法	21
1. 关于学习·思考的常用词汇	22
2. 关于语言·传达的常用词汇	35
3. 关于各类动作的常用词汇	42
4. 关于各种感情的常用词汇	55
5. 关于各种性格的常用词汇	65
6. 关于心理活动的常用词汇	74
7. 常用接续词	85
8. 常用拟声词·拟态词	91
9. 常用复合动词	97
10. 常用惯用短语	106
11. 常用对义词·反义词	112
第3章 单词速记之继起分类法	149
1. 从起床到就寝的常用词汇	150
起床之后	150

回家之后	151
2. 日常生活中的常用词汇	152
做饭	152
洗衣服	153
沐浴	154
乘坐公交	155
打的	156
生病	157
3. 休息日· 闲暇中的常用词汇	158
去百货商店	158
在餐厅吃饭	159
住宾馆	160
海外旅行	161
休闲生活	162
过生日	163
4. 恋爱· 结婚中的常用词汇	164
表白	164
约会	165
分手	166
结婚	167
5. 学校· 公司中的常用词汇	168
考试	168
写论文	169
工作	170
失败	171